

中村支所管内より



土佐清水市から お花見に来ました！

やま さき むつ お
山崎 六男さん
やま さき あけ み
山崎 明美さん

3月29日、四万十市の為末公園でお花見を楽しまれていました。明美さんのお仕事が休みで、お弁当を持って訪れたそうです。六男さんは普段、家の畑仕事をしたり散歩をしたり。今は2人で暮らしています。息子さん、娘さんは県外に勤めていて、今はなかなか会えません。早くコロナ禍が終息して欲しいですね。

平日はお仕事、週末は畑仕事 バーベキューも楽しんでいます

なかうち かおり
中内 香織さん(36歳)

四万十市岩田にある自宅敷地内の畑でたくさんの野菜を育てています。「小さい規模で趣味程度ですよ」と話してくれましたが、きれいに管理された畑は、数えてみるとサニーレタス、水菜、セロリ、大根、大菜、ロマネスコ…10種類以上の野菜を栽培し、養蜂箱3箱、昨年はライムなどの柑橘類の苗木も植えました。田んぼも1町8反あり、初種から育成し、田植えから稲刈りまで家族で作業するそうです。「JAグリーン四万十店にもシキミを出荷しています。今後は余裕があれば野菜も出したいと考えています」と笑顔で答えてくれました。

中村支所管内より



幡多
地区

から こんにちは 今月の〇〇 気になる人

中村支所管内より



四万十市間地区で 米づくりをしています

おか やま しゅうせい
岡山 修正さん(82歳)

令和4年度産では「よさ恋美人」1町5反、「イクヒカリ」5反、「コシヒカリ」1町を栽培しています。奥さんの和美さんと一緒に作業をします。3月24日訪れると、すでに「よさ恋美人」の田植えが始まっていました。初種をJAで購入して育苗します。「天気が良かったのでよく萌えたよ」と笑顔で話しました。今年の出来に期待が込められました。

岡山さんは収穫もいち早く始め昨年は7月15日でした。



令和3年度編み物教室 自作のセーターを着て お披露目会♪

令和3年6月4日より開始した編み物教室が12回の教室を終え3月18日、完成品のお披露目会をしました。すでに2着目、3着目を編み始めた方もいました。受講生は編み終わるまで何度もほどこき編み直しもしたそうです。「手具合できつくなったり緩くなったりしてしまう」との感想が多く、3着目に入っていた女性部中村支部土居部長は「だいたい決まった時間帯に編む。今はテレビを観ながら編みますよ」と笑顔で話しました。

今年度は編み物教室の開催はありませんが、料理教室や絵手紙教室の開催を予定しています。

幡多地区より



できごとピックアップ

地区内のイベントや、地域農家の取り組みなどを紹介します！



受納式に臨む松本町長（前列左から3人目）と松岡本部長（右隣）ら。

1 佐賀支所 消防運搬車・専用資機材を 黒潮町消防へ寄贈

J A高知県幡多地区とJ A共済連高知は3月4日、幡多中央消防組合消防本部黒潮消防署へ消防運搬車と専用資機材を寄贈しました。両者は地域貢献活動の一環として近年多様化する各種の災害に対し、現場の救助活動等において多くの専用資機材の必要性を感じ、車両や資機材を各消防署へ寄贈しています。

この日は同消防署で受納式を行い、25人が出席。消防運搬車は各種の災害に対しポンプなどの資機材を搬送します。専用資機材はスプレッダーという、交通事故防止へ寄贈しています。

松本敏郎黒潮町長は「リフトを装備した運搬車両で高重量のものも少人数で移動でき、これまでに以上に迅速な対応が可能となる。有効に活用させていただき」と感謝を述べました。長尾理夫常務は「交通事故や農作業時の事故、各種の災害、南海トラフ地震などの人命救助、早期復旧など地域住民が安心できる救急活動に役立ててほしい」と話しました。

この際は、車両等の閉じて開かないドアなどを押し開ける機材で、充電式となっており現場での電源は必要ありません。

松本敏郎黒潮町長は「リフトを



「おいしくなあれ」と唱えながら混ぜる生徒の皆さん。

2 中村支所 地域の良さを学び

四万十市立大用中学校は3月15日、同市三ツ又のゆず加工場で「椎茸の佃煮」作りを体験しました。同中学校の総合学習の一環で、地域の魅力を発見し発信しようと毎年行っています。この日は1、2年生6人が参加しました。同市三ツ又地域はゆず栽培が盛ん。5年程前までは三ツ又ゆず加工グループが、出荷できなかったゆずをジュースやゆの酢などに加工しJ Aの直販所等で販売していました。現在は部員の高齢化などで休止中ですが、当初より同グループで製造、販売をしていた林浩子さんと林泰子さんが指導しました。

材料の椎茸は学校で栽培、収穫後干したものを使い、細かく切ったゆずの皮も入れます。沼瀬美喜先生は「せつかく取り組むのだから販売するのと同じレベルで、本格的に作る。加工品製造の過程や苦勞も学んでもらいたい」と話します。容器に貼るラベルも生徒自身が作成。110g詰めのビン90個が完成しました。今年初めて体験した1年生は「カキを使って混ぜ続ける作業は力がある。煮沸など細心の注意が必要なので大変な仕事だと思った」と話しました。

3 大方支所 ご入学おめでとうございます 「交通安全傘」と「横断旗」を寄贈



傘を寄贈する宮崎支所長と前田校長

J A共済連高知では、毎年地域貢献活動の一環として管内小学校の新入学児童に「交通安全傘」と「横断旗」を寄贈しています。

3月23日には、大方支所の宮崎支所長が黒潮町立入野小学校を訪ね、同校の前田浩文校長へ交通安全傘21本、横断旗5本を寄贈しました。前田校長は「毎年、子どもたちの交通安全活動に役立っています。大切に使用させていただきます」と受け取りました。幡多管内の小学校42校では交通安全傘579本と横断旗202本を寄贈しました。

4 佐賀支所 第1回高知県なら生産拡大大会 県内4カ所で開催



講演を熱心に聞く生産者の皆さん。

J A高知県営農販売事業本部は3月11日、佐賀支所で「第1回高知県なら生産拡大大会」を開催しました。コロナ禍による部会活動や営農指導活動の停滞をカバーし、栽培技術の向上による農家経営の安定と、まとまりのある産地づくりを目的に県内4カ所で開催しました。この日は生産者10人やJ Aの担当営農指導員らが参加。IOP（植物のインターネット）クラウド「SAWATCH」についての説明や、ニラの葉先枯れ要因の解明と対策についての研究発表などが行われました。参加した生産者は「SAWATCHは確かに便利で良さそう。若い人はほとんど利用した方が良さ」と関心を示しました。

5 幡多地区 コンプライアンス研修会



研修会に参加する職員

J A高知県幡多地区では役員全職員を対象に定期的にコンプライアンス研修会を開催しています。今回は人事制度の変更説明を含む研修会で3月14日・15日・17日の3日間、午前と午後の部に分けて行いました。研修会は外部講師のWEBによる職場内のハラスメント対策についての説明等がありました。参加した職員は「自分の行為が無意識のうちにハラスメント行為になってないか、改めて振り返ることができた。働きやすい職場環境に努めたい」と話しました。

6 幡多地区 幡多地区本部 新築工事竣工式



宮司による神事が執り行われました。

令和4年4月から運営が始まっている幡多地区本部新館で3月26日、竣工式を行いました。四万十市長など来賓を招き、役員や運営委員長、関係者等32人が出席しました。中平市長は「令和3年4月のJ Aグリーンリニューアルオープンから多くの方々に賑わいを見せ多くの方に繋がることが期待している。J A、女性部、青壮年部、生産部会、行政と一緒に汗を流して町を元気に発展していきたい」と祝辞を述べました。

1階には、地区本部企画・組合員課、信用共済部信用課・共済普及課、はた営農経済センター購買課・販売課・営農経済指導課を配置します。2階には小・中・大会議室などを設け各種会議や研修会を行います。

役立つ! 得する! 情報 **えいのう** ~

初心者(家庭菜園)向け

ピーマンを作ろう!



栽培のポイント

- ナス科の野菜との連作をしないこと
- しっかりした苗を購入してください
- 十分暖かくなってから植えること
- 日照時間の長い場所で栽培すること

【栽培暦】	△:定植	—:生育	■:収穫									
月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
作付け計画	△—————■											

① 畑の準備・植えつけ

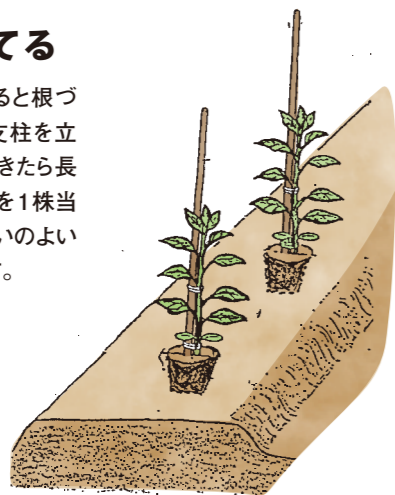
- ① 植え付けの2週間前に1㎡当たり苦土石灰100~150g、堆肥2~3kgを施し土とよく混ぜておきます。
- ② 1週間前に1㎡当たり元肥として、有機1号ペレット(8-5-5)を200g施し、畝幅120cmくらいに畝立てをします。
- ③ 4月下旬~5月下旬頃、大苗(本葉7~8枚くらいのもの)を購入し、準備した畑に株間50cm程度にとり、浅植えにします。
- ④ ポットから鉢土を崩さないように植え穴に植え付け、鉢土の周囲に隙間ができないように、土を丁寧にいれます。

② 水やり

- 植え付け時にたっぷり水をやっておきます。その後は、株元の土の乾き具合を見て水やりをするようにします。

③ 支柱を立てる

- 風で苗が揺さぶられると根つきが悪くなるので仮支柱を立て、株の丈が伸びてきたら長さ1mぐらいの本支柱を1株当たり1本、もっとも勢いのよい枝に結んで固定します。



⑤ 主枝とわき芽取り

- 第1分枝より下から出るわき芽は、かき取ります。枝は、整枝剪定せず自然に伸ばします。
- 支柱の高さまで草丈が伸びてくると、摘芯します。



⑥ 敷きワラをする

- 追肥後、畝間を軽く中耕し、土寄せ後、梅雨明け前に敷きワラをして夏の乾燥を防ぐ。

⑦ 収穫

- 実が大きくなり、つやつやした緑色になったものから収穫します。
- 取り遅れは株を弱めるので注意します。

令和4年4月1日付 人事異動

●幡多農業振興センター

【転入】

新所属	氏名	旧所属
幡多農業振興センター		
次長兼総務企画課長	中村 祐介	幡多福祉保健所地域包括ケア推進企画監
技術次長	久保田 守	須崎農業振興センター 基盤整備課長
農業改良普及課主任(環境制御普及推進担当)	佐藤 敦彦	農業政策課主幹
基盤整備課主査	沖 颯太	幡多土木宿毛技師
農業改良普及課普及指導員	安田 真之介	須崎農業振興センター 普及指導員
農業改良普及課主査	山下 真司	農業技術センター 研究員
農業改良普及課普及指導員	山崎 貴史	安芸農業振興センター 室戸支所普及指導員
総務企画課主事	大崎 瞳	県立病院課 主事
農業改良普及課 技師	藤本 航大	新規採用
【所内異動等】	氏名	
農業改良普及課 チーフ(産地育成第一担当)	山口 説夫	農業改良普及課主任(環境制御普及推進担当)
農業改良普及課 専門員	町田 啓二	幡多農業振興センター 農業改良普及課 専門員
農業改良普及課 専門員	飯田 悌	幡多農業振興センター 農業改良普及課 専門員

【転出】

旧所属	氏名	新所属
幡多農業振興センター		
技術次長	大利 尚	農業基盤課 国営農地整備推進監
農業改良普及課 普及指導員	林 美紀	環境農業推進課 専門技術員
農業改良普及課 普及指導員	行弘 恵	安芸農業振興センター 農業改良普及課 チーフ(産地育成第二担当)
農業改良普及課 普及指導員	池川 侑花	農業担い手支援課 主幹
基盤整備課 主幹	上岡 剛	農業基盤課 主幹
農業改良普及課 普及指導員	岩橋 理紗	農産物マーケティング戦略課 主査
総務企画課 主事	樋口 麻結	東京事務所 主査
農業改良普及課 主査	白木 香奈	中央西農業振興センター 主査
【退職者】	氏名	
次長兼総務企画課長	岡崎 宏久	
農業改良普及課 チーフ(産地育成第一担当)	岡田 昌久	
農業改良普及課 専門員	町田 啓二	
農業改良普及課 専門員(短時間)	飯田 悌	

●須崎農業振興センター 高南農業改良普及所

【転入】

新所属	氏名	旧所属
高南農業改良普及所		
チーフ(産地育成第二担当)	藤本 友紀	農産物マーケティング戦略課 主任
普及指導員	安岡 扶美	農業担い手支援課 主幹
普及指導員	赤木 浩介	農業技術センター 主任研究員
普及指導員	宗石 佳奈	農業技術センター 研究員
技師	井上 雄喬	新規採用
【所内異動等】	氏名	
所長	高岡 佳宏	高南農業改良普及所 チーフ(産地育成第二担当)
普及指導員	小笠原 一真	高南農業改良普及所

【転出】

旧所属	氏名	新所属
高南農業改良普及所		
チーフ(人・農地プラン推進担当)	植田 祥平	農業担い手支援課
主査・兼大阪事務所主査	森澤 美紀	農産物マーケティング戦略課
普及指導員	松倉 開成	安芸農業振興センター
【退職者】	氏名	
農業改良普及課長	西田 修二	
農業改良普及課 専門員	武内 聖志	

皆さんからのご意見、ご感想、つぶやき、川柳、イラストなど、お便りを心待ちにしています！

みんなのひろば

家の畑で少し野菜を作っています。孫10人それぞれ、おばあちゃんの野菜大好きと言ってもらい食へてくれます。幸せ！

(佐賀支所管内・65歳)

▼採れたての新鮮野菜。お孫さんの反応が嬉しい限り、作り甲斐がありますね。おばあちゃんの野菜をたくさん食べて成長してほしいですね。

春の良い季節になりましたがどこへも出かけることが出来ず家にこもっています。早く旅行に行ける事を願っています。好きな所に好きな物を食べに!!

(中村支所管内・83歳)

▼お友達と二緒に楽しく外食できる日が待ち遠しいですね。美味しいものも黙食では楽しさが半減します。旅行仲間で積み立てているお金が貯まりすぎて使えるのを待っている状態の方も多いのではないのでしょうか。次の旅行が豪華に贅沢にできることを励みに待ちたいですね。

学校でJAへ見学に行きました。地域に交わって仕事しているなあと感じました。なくてはならない職場とおばあちゃんも話しています。

(宿毛支所管内・10歳)

▼いつもJAをご利用賜り、誠に感謝申し上げます。と同時に、気持ちを引き締まる思いです。JAの事業である信用共済、営農購買販売、各種のサービスなど組合員・地域に密着し、みなさんの期待に応えられるよう、今後も職員一同努力致します。

暖かくなってウォーキングもしやすくなりました。毎日8千歩を目標に頑張っています。

(中村支所管内・72歳)

▼ウォーキングの目標8千歩！私は5千歩と設定していました。お便りを読んで私も少し目標歩数を増やそうと思いました。皆さんの目標は何歩でしょう？

うちんくの台所、いつも参考になります。知らない料理方法があつて、作ってみようと思います。

(大方支所管内・67歳)

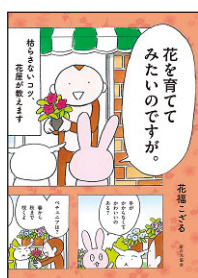
▼3月号うちんくの台所は、「キュウリとエビの塩炒め」と、「キュウリとトマトのふんわり卵スープ」の掲載でした。作ってみて美味しかったとの感想が多く好評でした。ぜひお試しください。

おたよりイラストコーナー



(大方支所管内・50歳)

新刊のお知らせ



●『花を育ててみたいのですが。枯らさないコツ、花屋が教えます』
花福こざる 著
定価：1,540円（税込）

花屋を営むかわらマンガ家でもある著者が、マンガを交えて花の育て方を基本から詳しく解説。栽培法、初心者ややりがちな失敗や花の雑学など、楽しく学べる。鉢花、グリーン、ハーブなど人気の60種を掲載。



●『フルーツをもっとおいしく楽しむ本』
後藤浩一 著
定価：1,760円（税込）

フルーツやパフェ好きの人に有名な老舗パーラーの店主が教える、人気フルーツの取り扱い方とレシピ。きれいな皮のむき方、切り方をはじめ、コンポートやソースなどひと手間加えるだけの簡単メニューを紹介。

日本農業新聞 (2,623円税込/月) を購読しませんか。～3つの特徴～

- ① **日本で唯一！日刊農業専門紙**… 31万部をほこる国内最大の農業専門紙です。農家、JA職員、市場関係者など、農業に携わる皆さんにとって役立つニュースが満載です。
- ② **農家目線の確かな報道**… 営農技術や作物の流通など、専門分野に精通した本紙記者が、信頼性の高い情報を届けます。
- ③ **地域に広がるJA通信員の取材網**… 全国の支所・支局に加え、1,600人を超えるJA通信員が、充実した地域情報を伝えます。

※お申し込みはお近くのJAへお問合せください。